



しまだ 議会だよい

No. 45

6月
定例会

2014

平成26年8月15日発行

明るい 豊かな 未来のために

(案)』について質問続々!!

平成26年第2回定例会が、6月9日から7月3日まで
の25日間の会期で開催されました。

平成26年度 補正予算等を可決

6月定例会初日に正・副議長選挙が行われ、議長に河原崎聖議員が、副議長に曾根嘉明議員が選出されました。また、任期満了により3つの常任委員会と議会運営委員会の改選が行われました。

平成26年度島田市一般会計補正予算(第1号)ならびに土地取得事業特別会計補正予算(第1号)および条例案6件、平和都市宣言の制定、財産の取得(消防ポンプ車)、財産の取得(スクールバス)、下水道浄化センター再構築委託の協定の締結、市道路線の認定と廃止、工事請負契約(川根小学校校舎等建設工事)の一般議案7件を含む計15件の議案が審議されました。
一般会計補正予算は4億1082万4000円の減額で、

補正後の予算は368億17万6000円となりました。社会保障・税番号制度システム整備費、一般不妊治療費助成事業、スクールバス購入事業、私立幼稚園施設整備費補助金の5件の新規事業が計上された一方で、国および県の補助金の内示に伴い一部事業が減額されました。



川根小学校校舎等建設工事起工式

一般質問に

15人が登壇

6月18日からの3日間で15人が登壇し、市政全般に対して一般質問。そのうち8人が『病院建設の基本構想(案)』について質問しました。(7ページ)

議案質疑に

8人が登壇

3つの常任委員会に議案が付託される前の6月23日に、8人の議員が議案に対する質疑を行いました。その一部の内容を報告します。

社会保障・税番号制度システム導入のメリットは?

答 番号制度が導入されることによる、市民のメリットは社会保障や税に係る各種申請・申告の際に、添付する書類を省略することができるようになる。

ふるさと寄附金を増やすためには?

答 一万円以上の寄附のお礼に、市外の方には、「川根温泉ホテル無料宿泊券」川根・田代の郷温泉施設無料利用券「茶のセット」等から1品。市内の方には、「温泉施設の無料利用券」「島田・金谷・川根茶」のいずれか1種類で、2000円程度のを贈呈する。

平和都市宣言へのパブリックコメント反映は?

答 意見の中で、反戦・非核という言葉が多かった。しかし、文案には入っていないが、文章解釈文の中で反映した。

公共下水道島田浄化センターの建設工事(再構築)委託に当たって、委託予定事業団が20年ほど前に談合事件を起こしたが、防止対策を確認したか?

答 指名競争入札から、競争性、透明性および公正性の向上を図るために、全ての工事で一般競争入札を採用した。

平成26年
6月定例会
の概要

『病院建設の基本構想』



島田市議会 6月定例会

「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」とは？

答 「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」として、平成21～24年度の子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券の配布対象者で、25年度未だに市の当該検診を一度も受診していない方を対象に、再度無料クーポン券を9月に配布する予定。

2常任委員会の名称変更

6月議会より「経済建設生活常任委員会」は「経済建設常任委員会」へ、「民生病院教育常任委員会」は「厚生教育常任委員会」へ名称を変更しました。

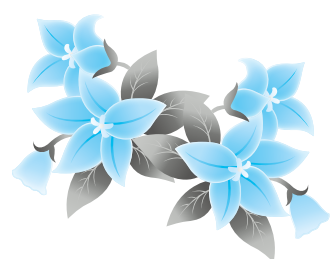
この2常任委員会と総務消防常任委員会では、付託された議案について審査を行いました。(4～6ページ)

新体制の特別委員会設置

今年度から新たに「議会改革」を加え、「議会だより編集」、「市民病院の建設等」に関する3つの特別委員会の改選が行われました。(15ページ)

意見書採択

『労働者保護ルールの見直しに関する意見書』を採択しました。(15ページ)



議会最終日

7月3日の最終日には、3常任委員会に付託された議案の審査内容と採択結果が報告され、すべての議案が可決されました。

がん検診無料クーポン券

交付金内示額減額の影響は？

経済建設常任委員会

本会議より付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。主な審査内容は次のとおりです。

☆H26一般会計補正予算

○農道整備事業

国道473号バイパス建設に伴う農道付け替えの経費。

問 土地は市に移管されるのか。

答 道路法の

の道路でなく農道であるため、無償での市への引き渡しは困難である。市が買収し、最終的には市の農道となる。

問 農道整備事業に伴い、国道473号バイ



東町御請線の事業の進捗状況

パス建設計画全体の概要はどうか。

答 県からは、全体事業費約120億円、平成29年完成を目指しているという。

○社会資本整備総合交付金の大幅減額
補正額で3億7194

万3000円減額された。

問 本通り向谷線と本通り御飯屋線の予算が今回の補正で予算措置がなくなっているが、今後どうなるのか。

答 来年度、事業ができるよう方針を明確にしていく。

問 色尾大柳線改良事業は、今回の補正で4655万円減額された。572万円の予算でどのような事業をするのか。

答 移転の代替地に必要排水路や道路側溝等、最小限必要な基盤整備をしていく。

問 東町御請線の整備事業が1億4200万円減額しているが今後の予定はどうか。

答 平成24〜28年度までの5カ年の整備計画であり、今回交付金が減額されたことにより、本年度当初に予定したとおりにはできないが、平成28年度までに完了する予定である。

問 今回の社会資本整備総合交付金の減額に対する、国・県の今後の見通しはどうか。

答 静岡県内の状況は、72億円の要望額に対し、内示額は41億円である。内示率に換算すると56%となる。全国的に要望の路線が増えたことで、内示率は落ちて

いる。島田市も内示率は落ちたが、昨年に比べ全体の内示額、交付金額は増えている。この自治体も島田市と同様に厳しい率である。特に、ここ1〜2年は

激動しており、以前は要望のほぼ100%の交付であったが、最近

は厳しい状況である。当市としては、国・県に何回も要望に出向き、市長のトップセールス

も含め、1円でも多くの交付金獲得に努力している。

○橋りょう長寿命化修繕・耐震事業

問 桜橋の事業費600万円の内容はどうか。

答 桜橋は平成28年度に修繕の予定であったが、東町御請線の工事と同時に工事をした方が、試算で約3000万円の経費節減が見込まれるため、前倒して実施計画を策定する。

問 日本下水道事業団が、この事業は出来ないのか。

答 当市は専門の職員がいないため、事業団に頼るしかない状況である。

☆島田市公共下水道島田浄化センターの建設工事(再構築)委託に関する協定の締結

問 日本下水道事業団が、この事業は出来ないのか。

答 当市は専門の職員がいないため、事業団に頼るしかない状況である。

問 入札を市内の業者に限定出来ないか。

答 今回は、市内の業者では対応出来ない専門的な工事であるが、下請けは極力市内の業者を使うように事業団にお願いしていく。



浄化センター建設工事の一部である制御コンピューター

大井川鐵道の減便による子どもたちへの通学対策はいかに？

厚生教育常任委員会

本会議より付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。主な審査内容は次のとおりです。

☆国民健康保険税 条例の一部改正

問 低所得者の国保税軽減対策はどのように変わったのか。

答 軽減措置により、2割軽減世帯から5割に移行した世帯が増えた。全体でも6・4%拡充の対象世帯数が増えた。

問 低所得者の国保税滞納が4割以上ある。負担感が高い。一方、税収減の財源はどうか。

答 国・県が4分の3、市が4分の1で交付税措置されるというが、まだ決まっていない。

☆H26一般会計補 正予算

○少子化対策費

問 不妊治療・人工授精の助成は償還払いか。

答 償還払い方式であるが、4月1日以降の治療を対象とし7月1日から助成を始める。

○幼稚園費

問 私立幼稚園のつり

天井落下防止工事に対する補助金について説明してほしい。

答 私立幼稚園の整備に対して、国が対象経費の6分の1を補助する。市は単独で、民営化した幼稚園に対して6分の1を上乗せする。



つり天井落下防止工事を行う五和幼稚園

○学校教育費(スクールバス運行事業)

問 大鐵

減便に伴うスクールバス運行のための多額の経費が計上されている。今後の予定と計画はどうか。

答 先の見通しができないが、児童数の推移やバスのリースと購入との比較をしながら5・6年先には購入が有利と判断した。

問 バスを使えば大鐵の利用が減るが、定期券への補助も継続するのか。

答 時間帯によっては通学に大鐵を利用するので、定期券購入への助成も引き続き行う。

問 一般住民の混乗での利用はできないか。

答 今後、調査研究をしていきたい。



通学時間帯の減便が決まった大井川鐵道

☆後期高齢者医療 に関する条例の 一部改正

問 「減額又は免除」を「減免」に改正するがどのように違うのか。

答 「減額又は免除」は、課税する際に市が、経済的に困窮するなど、対象者の状態を判断して額の軽減措置を講ずることだ。

「減免」は、実際に賦課をして納税通知書が届いた後に、災害などの事情に基づいて納税者が申請をし、支払い能力や状況を判断して、額の一部又は全額を減額することである。

☆学校給食共同調理 場条例の一部改正

問 新しい調理場での

ご飯の配膳方法は、

答 ご飯は外部に委託している。これまでクラスごとの食缶と、個人ごとのアルミパックの2種類あったが、今後は、全てクラスごとの食缶の予定である。

☆工事請負契約に ついて(川根小 建設工事)

問 事業費が大きく変更した経緯があるが、校舎建設以外の工事も含め、計画の予算内で収まるのか。

答 最近、建設費が高騰している。入札に先立ち、設計を厳しく見直し、建設費圧縮に努めている。

問 木材を使った校舎ということだが、予算削減で見直したと言うが、大丈夫か。

答 目で見るところは木を使い、隠れた部分を変更した。

次世代につなぐ

『平和都市宣言』制定

総務消防常任委員会

本会議より付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。主な審査内容は次のとおりです。

☆H26一般会計補正予算

○過疎対策事業債

問 事業延長された過疎債の有効期限と、平成25年度末の起債額合計、財政見通しは。

答 期限は平成33年3月、過疎債発行額は33億820万円である。将来的に市民一人当たりの負担額を一定にし、総額を減少させる方向で計画している。

○ふるさと寄附金推進経費

問 目的と過去の実績は。

答 ふるさと寄附金の感謝と、特産品等を贈呈することでシティブロモーションと地場産

業の振興を図ることである。平成23年度から25年度までの合計19件

136万3000円である。

☆H26土地取得事業特別会計補正予算

○公共用地取得事業

問 事業用地の先行取得費を減額し、土地開発公社貸付金を計上する理由は。

答 社会資本整備総合交付金の減額により、建設課が行う谷口中河線改良事業用地を、土地開発公社が先行取得するためである。なお、来年度、建設課で買い戻しを行う。

☆島田市税条例等の一部を改正する条例

問 法人税率の引き下げによる影響額と減額の補てんの方法は。

答 平成25年度実績比較で平成26年度はゼロ、平成27年度7000万円、平成28年度で1億1000万円の減額を見込んでいる。減額分は地方法人税として交付税措置される見込みである。

☆島田市火災予防条例の一部を改正する条例

問 花火大会や祭りのような催しにおける火災防止の措置は。

答 火災の発生する恐れのある器具を使用する際には、消火器を設置し、露店等の開設を消防長に届け出なければならない。

☆平和都市宣言の制定

問 平和祈念式典における宣言の周知活動は。

答 式典中でのイベントと展示コーナーにおける宣言に至るまでの内容の紹介を検討している。



島田茶・金谷茶・川根茶セット



地酒セット

贈呈される特産品の例



平成25年度 平和祈念式典

島田市議会では、執行機関（市長や行政委員会）にその執行の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項など、市政全般のことについて質問を求め、所信を質したりするための機会として、「一般質問」を実施しています。

市長に質問するため、議員はあらかじめ質問の要旨を届け出る必要があります。個人質問の制限時間は50分以内です。その時間内に「一問一答方式」で質問をすることができません。

市長に質す！ 6月定例会 一般質問



質問に答える
染谷絹代 市長

（一般質問をインターネットでも見てみませんか？）

配信を見るには、次のうちいずれかの方法でどうぞ。

①島田市ホームページのトップページの右側にあるバナーをクリック！



②スマートフォンとタブレットではQRコードで「ピッ！」



③URLは
<http://www.shimada-city.stream.jfit.co.jp/> です。

④検索エンジンに「島田市議会 映像」と入力し、検索することもできます。



《インターネット配信をご利用できない方へ》 この録画映像をまとめたDVDの貸し出しサービスを開始する予定です。詳細につきましては、議会事務局 ☎36-7205までお問い合わせください。

問 島田市に高齢者と呼ばれる方は何人いるか。

答 65歳以上の人口は2万7996人である。

問 高齢者が孤独化しないために、どのような施策が必要と考えているか。

答 地域で見守る事業が必要。公会堂等を活用した居場所づくり事業、元氣アップシニアサポーター養成講座、高齢者見守りネットワークづくり事業等である。

迫るスーパー高齢化社会、島田市はどうする！

すぎの なおき 議員
(一問一答)



問 認知症行動障害で徘徊してしまう高齢者が最近よくとりざたされているが、市としては徘徊に対しどのような対策が必要と考えているか。

答 地域住民や地域の民間企業等の協力が不可欠と考えている。

問 市の後期基本計画では、特別養護老人ホームの待機者を減らしたいという目標を掲げている。具体的に何年を目標に整備するのか。

答 現在、市の特養の待機者数は97人である。特養等を運営する法人

問 国では地域包括ケアを柱とした福祉・医療の連携推進を掲げている。今後、整備する施設において様々なサービスが複合した施設整備が必要であると思うが、どうか。

答 社会福祉法人等から複合施設の提案をされた場合については、総合計画、今後の介護保健事業計画との整合性を図り、前向きに検討していきたい。



携帯で2次元バーコードを読み取ってください、複合型老人ホームを紹介しております。

<http://www.chibageka.jp/kusunoki/index.html>

QRコード（複合型老人ホームの紹介）



業績回復の期待がかかるトーマス列車

自治体の支援、熱意のある地元により廃線を免れ、いちご電車や猫の

「たま駅長」など活気のある鉄道に転換した。川根温泉ホテルと大井川鐵道のコラボレーションをいかに考えるか。



大井川鐵道支援を 経営的立場で!

清水唯史 議員 (一問一答)

大井川鐵道の要望と市長の考えの相違は何か。不採算の公共交通事業を縮小し、収益性のある観光鉄道に特化する考えと、公共交通事業対象でなければ国県の補助が受けられないことである。

市が所有する大井川鐵道の株式数と保有率は何か、株主として株主総会に出席するの。1万6647株を保有し、発行株式総数の0.39%である。「地域公共交通としての大井川鐵道の存続と地域活性化に関する協議会」で議論が可能であるため、株主総会への出席は考えていない。

南海電鉄貴志川線では、国・自治体の支援、熱意のある地元により廃線を免れ、いちご電車や猫の

国保事業にかかる医療費の推移と動向は。H20からH26の伸び率が12.7%であり、疾病傾向は高血圧性疾患、統合失調症、腎不全、その他の悪性新生物が上位。

国のヘルスアップ事業への参画は? 医療費縮減策は。国のヘルスアップ事業に取組み、データベースにより国民健康保険の重複患者や頻回受診者把握、適正保健指導を強化できる国の助成条件を精査し、庁内調整を図りながら、事業化、活用に取り組みたい。

SLを活用した宿泊プランなど、集客の協議を積極的に行っていく。

4月19日の新病院建設基本構想のための市民ワークショップでは、どのような意見が出されたか。広く市民から意見をいただくということの一環の中で開催したもので、「一、病院機能については、現在の機能や役割を維持して欲しい。医師が集まる病院を目指して欲しい。防災拠点としての機能も必要。二、病院の希望については、30年後

骨子の方へ極力盛り込むようにしており、事業費や財政計画については、基本計画へゆだねる部分もあり、課題として、最終部分にき

建設基本構想のための市民ワークショップでは、どのような意見が出されたか。広く市民から意見をいただくということの一環の中で開催したもので、「一、病院機能については、現在の機能や役割を維持して欲しい。医師が集まる病院を目指して欲しい。防災拠点としての機能も必要。二、病院の希望については、30年後

どうなる市民病院

曾根嘉明 議員 (一問一答)



の人口や高齢者の人口予測等に注意すること。近隣病院との連携、医療従事者の確保についても考慮して欲しい。三、建設地については、広い駐車場が取れることが望ましい。交通の利便性も十分配慮する必要があり、災害時にも病院機能が維持できることが必要である。」といった意見をいただいた。

議会の病院に関する特別委員会からの提言はどのように扱われたか。骨子の方へ極力盛り込むようにしており、事業費や財政計画については、基本計画へゆだねる部分もあり、課題として、最終部分にき

ちつと掲載をしてまとめ。 広域連携の考え方の必要性は 2025年に向けての国の医療制度改革の中で、急性期の入院日数について、今、市民病院は、平均日数が9日にしたいという方針であり、急性期を脱した患者の医療についても、広域連携はますます必要となってくる。

ちつと掲載をしてまとめ。 広域連携の考え方の必要性は 2025年に向けての国の医療制度改革の中で、急性期の入院日数について、今、市民病院は、平均日数が9日にしたいという方針であり、急性期を脱した患者の医療についても、広域連携はますます必要となってくる。



現地建て替えが予想される市民病院敷地

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

市民が意見を 言い易くする手立ては



森 もり
伸一 しんいち 議員
(一問一答)

問 行革で生み出した財源を市民の目に見える形で使えないか。

答 主旨には同感だが、手続き的に難しい。

問 この2年間(15件)のパブリックコメントに対しての応募件数は。

答 まちなか集積医療が最大で44人(253件)、6つの事業については応募者0。

問 応募者を増やす対策は考えているか。

答 実施時期の早い段階から広報に努める。



島響の定演も市民会館から市外のミュージコに

問 公共施設白書はどの程度の段階まで作るのか。

芸術文化を大切に!

市民が参加しやすい施策をして、関心を持ってもらう。出された意見がどのように活用されたか公表する。

答 12月までに各施設の現状を把握、来年3月までにその後の基本方針を決定。来年度以降、更新再配置計画に取り組む。

問 先月、市民会館再建署名1万7675人が市長に提出されたが、市長としての受けとめ方、および市民会館の果たした役割をどうみているか。

答 重く受けとめた。合唱・吹奏楽コンクールでの好成績、オーケストラの演奏者輩出。島田の文化の層を厚くし、人材を育んだなど重要な役割を果たした。

問 特種東海製紙横井工場移転後の利用法など特種東海の関係者と話し合いを持っているか。

答 平成24年から話し合いの機会を持っている。土地についての会社の意向は借地とした。

病院建設に 鑑み医師の確保は?



なかだ ゆうこ
仲田裕子 議員
(一問一答)

問 「公立病院は多額の補助金に依存する体質にある。しっかりと、経営感覚を持つことが患者のためである。」と指摘される中、服部病院事業管理者も「診療報酬の改定があり、その内容は医師が充足していない当院には厳しい内容である」とHPに記して

いる。病院の建物が充実しても、経営面の充実がなければ、市民は不安である。医師の確保が一番重要ではないか。

答 医師の確保が病院経営において、一番重要と認識している。懸命に努力する。

障害者支援の 充実を

問 障害者就労施設等からの物品等の調達方針に基づく実績はH24

○平成25年度障害者就労施設等からの物品等の調達実績

発注先	業務、物品等の内容	数量	単位	金額(円)
ワークセンターカサブランカ	資源類中間処理業務	1	式	22,541,000
うたしあ	選挙啓発用品(コンビニクロス)	100	個	8,000
うたしあ	コンビニクロス(2枚組)	5,000	個	250,000
うたしあ	菓子類	30	個	9,000
草管共同作業所	封筒印刷(長形3号、角型2号)	1	式	26,740
こころ	保健福祉センター緑地内草取り業務	1	式	86,940
ワークセンターコスモス	乳児用体重計袋、スクリーンカーテン	6	個	27,900
ワークセンターコスモス	市指定ごみ袋3枚を1袋に包装	860	バック	36,000
ワークセンター希望の家	アクリルたわし	100	個	20,000
合計				23,005,580

障害者優先調達推進法による島田市の実績

問 年度よりH25年度は減っているが、H26年度の見込みは。

答 昨年は、各部署に1回通知を出したが今回は、複数回通知し、障害者施設の商品を周知させる。また、障害者就労支援に関する協定を結び、新東名道路高架下草刈りを就労支援B型の作業所にあっせんする予定である。

問 グループホーム設置の対策を伺う。

答 第4期障害福祉計画の中で需要量等を把握し、基盤整備計画を立てる。

問 「ひだまり」の状況は。

答 H28年度まで4市2町が事業を継続するが、以降は管理市で話し合う。

問 金谷庁舎跡地利用に関して、福祉の拠点とする考えはないか伺う。

答 公共施設白書、マネジメント計画、再配置計画を決め複合施設とする。

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

突きつけられた現実



あおやままさお
青山真虎 議員
(一問一答)

問 新病院の建設費案が、前計画より100億円増額された。借金返済計画も示されていない。夢を語れない街にしないでほしい。

答 100億円増額しただけでなく前計画よりベッド数を増やした。

問 人口・患者も減少している。あるべき病院像の議論なきまま話を進めていることにも違和感をおぼえてしまうのだが。

答 高齢者が増えるから患者も増える見込みだ。

問 わくわく政策あらゆる提案に行政は

答 重機を操作して楽



若者の定住促進を図るには夢を語る政策が求められる。写真：若者たき火サミット

問 S Lを金谷駅に戻そう!

答 大鉄のS LをJR金谷駅発着に戻してはどうか。

問 大鉄が検討中だ。

答 S Lフェスタだけでも今年は今時点では考えてはいない。

問 しむ遊園地は建設可能か。

答 民間がやることだ。

問 野生動物の動物園は。考えていない。

答 伐採後の山林全体にサクラを植えて観光地にしてはどうか。

問 考えていない。

答 人だけ幸せな社会

問 総論ではどう思う。

答 空港周辺を特区に。県と構想を協議中だ。

問 空き家バンク開設は。来年度、川根で予定。

問 若者パスポート取得支援を提案する。海外に行くことと日本文化や故郷への想いを得て、人づくりに繋がる。年間5人でも。

答 是非、自己負担で。

問 資源やお金が市内で循環し地域は地域で自活する時代だ。

答 大事に考えたい。

企業誘致とマンパワーの活用を



ひらまつよし のり
平松吉祝 議員
(一問一答)

市長は着任後、ホームページへの借金時計の表示を皮切りに、すでに着手している事業の中止、打ち切り、補助金カット等「出を制す」ことに奔走された。「入るを量りて出を制す」という財政の心構えからみると、染谷市長は「出を制す」ことに徹底され、さらには事業仕分けとのこと、市民に夢と希望をもたらすはずの行政が、逆に

はいないだろうか。市長の「入るを量る」施策はどうなっているか。

問 企業誘致の現況は

答 平成23年度から25年度までの3カ年に5社誘致している。

問 それらは市長就任前の誘致策ではないか。

答 就任前からのものもあるが、明確になったのは就任後である。

問 転出企業数はどうなっているか。

答 現時点では把握していない。

問 企業誘致による市の増収予測はどうか。

答 敷地面積が1万平方メートル程度の企業が立地した場合、大体2000万円程度の税収増が見込まれる。

問 特区制度を利用し、用地を賃貸にすべき。

答 全国的な事例を調査研究していきたい。

問 借金時計は消すべきではないか。

答 市民とともに考えるきっかけのひとつである。

問 マンパワー、人的資源の活用を。

答 行政組織の再編を行っていく。



マンパワー 人的資源の活用を

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。



プラザおおるり3階に常設された防災対策本部（元・中会議室）

※病床の適正規模や療養病床の位置づけ、地盤強度、候補地の選定（特種東海製紙横井工場の交渉が不明確）等の判断根拠が整うまで議論が必要にて、早急に基本計画に移すべきではないと意見を述べる。

判断根拠が不十分な病院構想



村田千鶴子 議員 (一問一答)

問 現地建て替えの構想に対し、長期工事中の患者への騒音や駐車場の対応および入院患者の療養環境・ヘリポート設置場所、跡地活用・地盤強度は。

答 本計画にて具体的に検討。今後は急性期の病院を位置づけて計画。今後、解決できるような検討する。

プラザおおるりは文化活動の拠点

近年、事務所の使用が拡大し、指定管理による貸し館としての機能が低下。事務所機能の再配置の必要を訴え、公共施設計画マネジメントの中で駐車場も合わせ中枢機能を一体的に検討し、早期に方針を示すよう要望する。

問 有料施設として施設整備全般の考えを伺う。

答 空調設備やトイレ等経年劣化による修繕箇所が多い。多額な費用がかかるので整備計画を作成し適切な管理に努める。

問 駐車場不足解消に、トイレ配管を補修した所を舗装整備し、公用車専用の駐車場に活用しては。

答 有効なスペースである。汚水まますがあるのを精査して検討したい。

※その他に、道路上の白い区画線への予算づけ、本通6・7丁目、御飯屋地区路線の整備について要望。

市の財政の財源見通しはあるのか？

山本孝夫 議員 (一問一答)



問 過去5年間の歳入動向とこれからの歳入推移を、どのように見らるか。

答 今までは個人および法人市民税が減少しており普通交付税、臨時財政対策債の増により財源を確保。これからも市民税は減少し合併算定替加算も低減し歳入減となる。

問 歳入の問題点と対策は。

答 自主財源確保が課題であり、企業誘致や

土地利用の見直しで税収増を図る。

問 臨時財政対策債は恒久的に続くのか。

答 臨時的措置と考える。

公共施設建設はどう進めて行くのか

問 新病院を含む公共施設への財源はどうする。

答 補助金や市債を充て、なお、不足の時は基金を取り崩して対応する。

問 病院以外の公共施設の整備時期は。

答 現時点では未定。新病院建設の財政計画は出せるのか。答 基本計画の段階で検討し示すことが出来る。問 基本計画で財政難が予想されたら見直しはあるのか。答 どんな計画でも見直しは常にある。問 近隣の公立病院の中での診療科の機能分担の考えはないか。答 各病院で既に進んでおり、今後も広域の市町の中で話し合いを重ねて行く。

各年度の島田市決算カードのデータ入手方法 次の手順で入手できます。

総務省ホームページトップ

- メインメニュー「政策」内の「統計情報」
→ 地方財政状況調査関係資料
→ 決算カード
→ 市町村決算カードの各年度の決算カード
→ 静岡県
→ 島田市

【決算カードとは】自治体の歳入歳出を含めた財政数値の一覧表です。

決算カードの入手方法

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。



国保税の相談窓口

問 国保税の滞納状況は。 **答** 平成26年3月末で、未納額は約6億1000万円となっている。
問 失業や倒産、病気などで収入が減ると、前年所得にかかる国保税は重すぎる。納税相

問 国保の基金もひっ迫している。国保税の引き上げではなく、一般会計からの法定外繰り入れをして、国保会計の安定化を図るべきだ。
答 現行の課税水準を維持するとともに、社

問 国保の滞納状況は。 **答** 平成26年3月末で、未納額は約6億1000万円となっている。
問 失業や倒産、病気などで収入が減ると、前年所得にかかる国保税は重すぎる。納税相



県道34号線の特種東海製紙北側（向島町）



桜井洋子 議員 (一問一答)

国保税の引き上げは ストップを！

会保障制度の観点から一般会計からの繰り入れを行う対応も検討したい。

住宅リフォーム助成事業の実施を！

問 住宅リフォーム助成事業の経済波及効果はどうか。住宅耐震化にどう結びついたのか。
答 平成16年度からの6年間で合計1264件、2億3270万円の補助金利用があった。住宅修繕、外壁塗装、増築工事などが実施され、居住環境の向上や住宅関連産業への経済効果、金券の活用による市内商業活性化への効果があった。また、利用の約1割が住宅耐震化工事を実施した。

子供の安全確保 万全か？

伊藤 孝 議員 (一問一答)



問 4月に川崎市で立ち枯れた木の枝が落ち、子供がけがをした事例があったが、学校・公園等の樹木の安全対策はどうか。
答 小・中学校の敷地にある樹木については、各学校において腐食や立ち枯れている樹木を

定期的な点検し、危険度が高いと判断した場合、枝の切断や樹木の伐採を行い、児童・生徒の安全対策を図っている。
公園・緑地の樹木の安全対策については、公園管理の一つとして、樹木の剪定や伐採を毎年業務委託により実施している。その際、樹木の幹や枝に立ち枯れを見つけたときには、速やかに伐採を行い、公園利用者の安全を確保している。

問 自転車による事故を防ぐために、県道34号線の特種東海製紙北側の新しくなった歩道のような車道と段差の無いものに市道も取り入れる計画は無いのか。
答 JR島田駅北側の交差点は、特種東海製紙のところのような歩道と車道の段差をなくした施工をしている。今後も、国土交通省の試験的な施工方法を見ながら、新規のものについては改善していきたい。

新病院基本構想を問う



藤本善男 議員
(一問一答)



候補地の一つとなった特種東海製紙 横井工場付近

問 同地区への病院建設ができないか

答 同地区は工業地域となっており、現状は病院建設ができないからだ。

問 同地区への病院建設がどの程度難しいか、具体的に示してほしい。

答 現状での判断を示しただけなので、そのような検討はしていない。

問 4カ所の候補地については、最大限その土地の可能性について言及をすべきではないか。

答 評価事項で厳密に客観的な評価をし、総括的に決めたと考えている。

問 民間の土地で評価額が示されていないので、例示を示してほしい。

答 市民病院

の土地評価額が30億円というところで、参考として欲しい。

問 病床数が500床無いと、医師が集まらないと聞くが、いかがか。

答 ヒアリングや情報などから判断すると、一つの目安であるようだ。

問 国の医療制度が変わる中、手厚い7対1看護制度は今後も続くのか。

答 市民病院においては、今後2年間は継続していく見通しである。

問 現地建て替え時、駐車場はどうするのか。

答 立体駐車場、中央公園の利用、近隣土地の借り上げなど、今後真剣に考える事項、たと思う。

問 待ち時間、診療行為、治療行為でのトラブルなどの状況はどうか。

答 応対などの細かいトラブルは聞いている。説明不足が生じないよう、接遇面などを指導したい。

防霜ファン設置事業は評価する。



八木伸雄 議員
(一問一答)

問 昨年度行った大規模な防霜ファン設置事業、現在、行っている来年度のファン設置事業予算獲得の取り組みは、高く評価する。その上で、今年度の、凍霜害・雹害の支援対策を伺う。また恒久的対策として、輸出や国内消費の拡大のための公的支援を要望する。

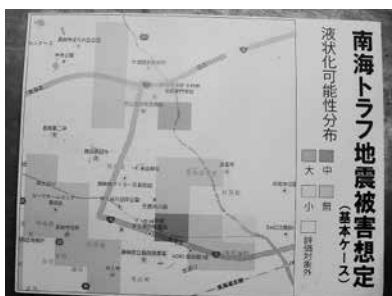
答 凍霜害・雹害が市内の一部で発生した。消費拡大対策は、県・JAと情報を共有し対

応じたい。

現病院の敷地は防災性で市内最悪だ。



震度7が想定される現病院敷地



液状化地盤が隣接している現地

問 新病院基本構想は、県の第3次地震被害想定で調査している。現在の被害想定は第4次だ。それによれば現地は震度7が想定されている。液状化地盤も隣接している。市で最も危険な候補地だ。過去4回洪水でも浸水している。防災をうたう市長の判断とは思えない。

答 リスクは市内のどこにでもあると考える。リスクのない場所はない。

問 昨年の資料では、本通りや市役所周辺が

最適地だ。今回の調査では最低だ。意図的ではないか。多額の費用をかけるなら市街地の活性化・市の発展も考えるべきだ。

答 【部長】当時はまちなか構想として判断した。

【市長】首都圏から見れば現病院の位置はコンパクトシティの範疇である。

問 首都圏を例にまちなかというなら、見解の相違で議論の余地はない。役所周辺なら市民に愛される。

答 現状が待ったなしである。理解してほしい。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

時間がほしい新病院建設



おおいしせつお
大石節雄 議員
(一問一答)

問 建設候補地選定の基本方針について伺う。

答 島田市内全域の土地を対象とした急性期医療を担う病院として十分な機能を整備できるように、必要面積、一団性、実現性を基本条件とし、タウンミーティングなど市民から提案があった土地も考慮し候補地を選定した。

問 4カ所に絞られた大きな要因は早く実現可能という時間のことか。

答 そうである。

問 新病院基本構想作成に当たり、総合計画等防災面も含め総合的に考えてきたか。

答 総合的に考えた。市民の意向を第一優先、医療の充実を受けての

基本構想である。

問 公共施設白書の結果を見ながら、最終的に病院の答えを出すという考えはないか。

答 最終的にはそうしたことについて、総括し評価していく。

部活外部指導者は顧問教員の助け

問 顧問教員の待遇は改善されたか伺う。

答 生徒数の減少、顧問教員の高齢化など部活動を担当する教員の負担は大きい。

問 外部指導者活用、合同チームによる成果はあるか。

答 外部指導者によって部活動顧問が大きく助けられている。合同チームは、川中・北中野球部だけである。評価している。



川中・北中野球部合同チーム全国大会

問 非常勤講師の扱いで外部指導者を受け入れることは可能かどうか。

答 不可能ではないが、費用負担が大きい。市としては、財政的余裕がないため難しい。

今後のエネルギーを考えよう

よこたがわまさと
横田川真人 議員
(一問一答)



考える。

問 原発以外の電力関係施設を見たことは。

答 火力発電所を見た。

問 電気を作るものは、いろいろある。エネルギーのベストミックスが大事。いろいろと勉強してからエネルギーのことを判断して欲しい。

答 勉強していく。

アニメは

新しい観光資源

問 島田市が舞台になっているアニメがある。観光で活用する考えはないか。

答 アニメファンが舞台になったところを見て回る、いわゆる「聖地巡礼」と呼ばれるものが流行っている。島田市も、舞台になった蓬萊橋を見に来る観光客が増えたと聞いている。活用したい。

問 立川市や秩父市ではそういった取り組みで、大きな経済効果がでている。参考にしてどうか。

答 島田フィルムサポート等と連携してやっていきたい。



アニメ「ゴールデンタイム」のクリアファイル

意見書を採択しました

議会は、その自治体の公益に関することについて、国会または関係行政機関に意見書を提出することができます。6月定例会では、1件の意見書の提出があり、それについて可決した後に内閣総理大臣等に送付しました。

労働者保護ルールの見直しに関する意見書（要約）

現在、国においては、成長戦略の中で「解雇の金銭解決制度」や「ホワイトカラー・エグゼンプション」の導入、「限定正社員」制度の普及、労働者派遣法の見直しなどといった、労働者保護ルールの見直しが議論されています。これに対し、島田市議会は労働者が安心して働くことができるよう、国に対し、改善等の要望を行うことを採択しました。

※これは意見書の要約です。提出した意見書全文は、市議会のホームページまたは市役所1階の情報公開コーナーでご覧いただくことができます。

特別委員会を設置しました

平成26年6月定例会最終日の7月3日に、「市民病院の建設等に関する特別委員会」、「議会改革に関する特別委員会」、「議会だより編集に関する特別委員会」の3つの特別委員会を設置することが決まりました。

特別委員会の設置目的（要約）と委員は、以下のとおりです。

市民病院の建設等に関する特別委員会

平成26年7月3日設置・選任

市民病院は、設備・建物の老朽化が進み、新たに地域が必要とする医療を提供できる公立病院としての施設整備が求められています。

この7月には新病院建設に向けての第1段階である基本構想が策定されました。

今後、病院建設が基本計画、基本設計など段階を進めていく中で、地域の医療ニーズに的確に対応できる新病院の建設に関して、調査・研究を進め、志太・榛原保健医療圏域の住民が安心して安全な医療を安定的かつ継続的に提供できる市民病院の在り方について議論するため、特別委員会を設置しました。

議会改革に関する特別委員会

平成26年7月3日設置・選任

島田市議会では、平成21年4月に施行しました島田市議会基本条例に基づき、議会報告会の開催や会議の公開など、市民に開かれた議会となるよう改革の取り組みを進めてきました。その結果、日本経済新聞社の調査において議会改革度ランキング県内1位と評価されています。

条例制定から5年を経過し、今後もより一層の「開かれた議会」の実現を目指すべく、議会運営のあり方について条例に基づいた検証をするため、特別委員会を設置しました。

議会だより編集に関する特別委員会

平成26年7月3日設置・選任

議会活動情報を発信する方法の一つである「議会だより」は、市内全世帯を対象に配布されています。インターネット上のホームページと共に、非常に大きな役割があります。

市議会は「市民に読みやすく、分かりやすく、親しみやすい議会だより」の編集に努めるとともに、その内容のさらなる充実について調査・研究を継続して進めるため、特別委員会を設置しました。

特別委員会 構成一覧	青山 真虎	杉野 直樹	横田川 真人	伊藤 孝	山本 孝夫	森 伸一	仲田 裕子	清水 唯史	村田千鶴子	曾根 嘉明	桜井 洋子	佐野 義晴	福田 正男	紅林 貢	富澤 保宏	大石 節雄	藤本 善男	八木 伸雄	平松 吉祝
市民病院の建設等に関する特別委員会	△	○					△		△	△		△	◎		△			△	△
議会改革に関する特別委員会			△	△	○	△		△			△			△			◎		
議会だより編集に関する特別委員会		△	○	△	△	△					◎								

◎…委員長、○…副委員長、△…委員

議場ネット中継、出だし好調!!

6月定例会からインターネットでの中継が始まりました。会期中、延べ1,083人の方が、ホームページ生中継で議会を傍聴。好調なスタートとなりました。

また、ホームページで傍聴をした市民の方から、下記のような投稿をいただきました。

これまで何度か傍聴にでかけましたが、今回所用で議場に行く時間がなく、市議会一般質問をネット中継で見ました。

議会傍聴は市政の状況を知る大切な一つ的手段ですが、議場にちょっと入りにくい、行くのに面倒、全議員の質問を聴く時間がないとかで、議場に行ったことのない人が多かったと思います。これに対しネット視聴は、ネット中継もあり、見逃した方は1週間後に録画で見ることができて、市政の状況を知るとても良い手段です。議場では個別質問する議員は後姿が見えますが、ネットでは質問者、回答者とも正面の姿が映り、画面の切替もスムーズでした。

ネット傍聴をより深めるには、議会のサイトに掲載される一般質問通告一覧をプリントアウトして視聴し、メモなど書き加えると一層理解が進むのではないのでしょうか。各議員の考え方や人柄も分かり、同項目の質問でも議員により視点が違っていたり、これらに対する市当局の考え方を知ることができます。

こうして議会に関心が持てた方は、議場に足を運んで傍聴することをお勧めします。議場での雰囲気を感じ、集中できて、より記憶が鮮明に残るからです。

●平成26年6月定例会 議場放映アクセス数（生中継）

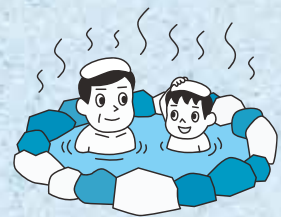


日付	6月9日(月)	6月18日(水)	6月19日(木)	6月20日(金)	6月23日(月)	7月3日(木)
内容	初日	一般質問	一般質問	一般質問	議案質疑	最終日
日計	226	383	257	90	74	53
	定例会計					1,083

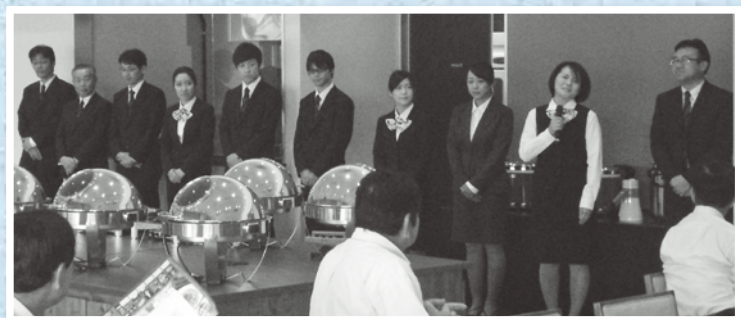
(単位：人)

川根温泉ホテル、オープン! ~川根温泉からSL(トーマス)を見ませんか~

6月20日、オープン前の川根温泉ホテルに全議員で視察に出かけました。屋上などから大井川などの景色をながめたり、室内や露天風呂、食堂の見学、そしてホテルの説明や地元採用スタッフの抱負を聞きました。宿泊だけでなく日帰り温泉コースもあるとのこと、温泉の風呂につかりながら、大井川鐵道のトーマスをみるのも良いですね。ぜひご利用ください。



ホテルの食堂にて



地元採用のスタッフたち

議会報告会 新しい試み始まる!!

平成26年度第1回議会報告会は、これまでの各地区の報告会に加え、島田市で活動されている団体との意見交換も取り入れた議会報告会を実施しました。今回行った3団体との主な意見交換内容をそれぞれ紹介します。

島田市健康づくり食生活推進協議会（5月19日・出席者53人）

当団体会長からも議会側に活動の説明があり、各地区での活動や初倉地区ではまだ会員がないこと、島田汁を広める活動またこの島田汁は味噌味ばかりではなくコンソメ味のものもあること等が紹介された。



『19日は食育の日』野菜を食べよう普及啓発活動

意見要望

- 街中に駐輪場が少なく買い物に不便だ。街中の活性化に繋げられない。こちらにどうぞという看板案内を作ってほしい。
- 川根にイベントがあっても土・日曜日にコミバスが運行されないのはまずい。運行の再検討を。
- 市施設で空きがあれば団体の活動の場としてもっと使用させてほしい。
- 議員さんががんばってください。

島田市いきいきクラブ（5月21日・出席者25人）

意見要望

- 新市民病院の建設や医師確保など心配だ。
- 市民会館はどうなるか。
- いきいきクラブの会員数はピーク時の約3分の2。市も議会も当クラブへの理解と問題点を把握して欲しい。
- 健康長寿老人が増えるよう会員募集し、活動をしているので、援助というより自立する施策を求める。



健康づくりに日頃の練習の成果を発揮！（いきいきクラブ）

島田市青年会議所（5月21日・出席者18人）



とうかい号、出航!!

意見要望

- 市の歳入をどうしたら増やせるか。税率を上げる政策が大事ではないか。
- 議員の最大の役割は行政チェックである。
- 市はたて割行政だ。担当外と言って話が進まない。一括した相談窓口を設置すべきだ。
- 青年会議所の海洋研修船へ市の職員も乗船し、研修を受講してはどうか。
- ふるさと寄附金をしてくれた人への記念品を市民から公募してはどうか。

今回の3団体との議会報告会は、これまでと異なった視点からの意見を聞くことができました。議会としても多くの課題認識や理解を深めることができ、有意義なものとなりました。ありがとうございました。

季節(秋)の写真募集のお知らせ

「議会だより」裏表紙にみなさんの撮った自慢の写真を載せてみませんか？

●写真テーマ 「秋」

●応募条件

- ・ご自身で撮影したもので他のコンテスト等に応募していないもの。
- ・応募作品に著作物や肖像などが含まれる場合は事前に承諾を得る事。
- ・お一人につき3点までとする。
- ・JPEG 2.0MBまで（Eメール応募の場合）
郵送の場合は、現像した写真（サービス判）
- ・送っていただいた作品の権利は島田市議会に帰属します。

●応募方法

- ・タイトルを付けてEメールまたは現像した写真を直接郵送ください。
あて先は左記のとおりです。
- ・締め切り 9月30日（火）当日消印有効



平成26年9月定例会の日程

平成26年第3回（9月）市議会定例会の日程は次のとおりです。本会議、常任委員会の傍聴にお越しく下さい。いずれも午前9時30分開会予定です。

9月2日（火）本会議（議案上程）	9月16日（火）本会議（議案質疑）
9月10日（水）本会議（一般質問）	9月17日（水）常任委員会
9月11日（木）本会議（一般質問）	9月18日（木）常任委員会【予備日】
9月12日（金）本会議（一般質問）	10月1日（水）本会議（最終日）

※この予定は変更されることがあります。

編集後記

平成26年6月定例会は、議長、副議長、各常任委員会、議会運営委員会、特別委員会など新たな体制でスタートしました。また、市民に開かれた議会として、念願だったインターネットによる本会議の映像配信も始まりました。私たち議会だより特別委員会の新メンバーも張り切っています。引き続き、活発な議論・審議の様子を、読みやすく、わかりやすくお伝えし、親しみやすい「議会だより」の紙面づくりに努めてまいります。ご愛読をよろしくお願いいたします。



議会だより編集に関する特別委員会

委員長	桜井洋子
副委員長	横田真樹
委員	伊藤直樹
	山本孝一
	森伸一